

# 特別史跡藤原宮跡

Special Historic Site Fujiwara Palace Site

藤原京は、持統天皇の8年(西暦694年)から和銅3年(西暦710年)まで、持統・文武・元明天皇3代にわたる都でした。中国の都城制に倣い、初めて本格的な都市計画のもと造営されました。ここでは、「二官八省制」と呼ばれる官庁組織や大宝元年(西暦701年)の大宝律令の制定によって、国を治めてゆく政治の制度、「律令制度」が整備されました。

藤原宮は、この藤原京の中心部にあたり、現在の皇居と国会議事堂、および霞ヶ関の官庁街とを1か所に集めたようなところ。大きさは約900m四方、まわりを大垣(高い塀)と濠で囲み、各面に3ヶ所ずつ門が開きます。中には天皇が住む内裏、政治や儀式を行う大極



殿と朝堂院、そして役所の建物などが建ち並んでいました。

藤原宮跡は、平城宮跡とともに、歴史的・学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として、昭和27年特別史跡に指定されました。

## 橿原市藤原京資料室

Exhibition Room of Kashihara-City at Fujiwara Capital Site

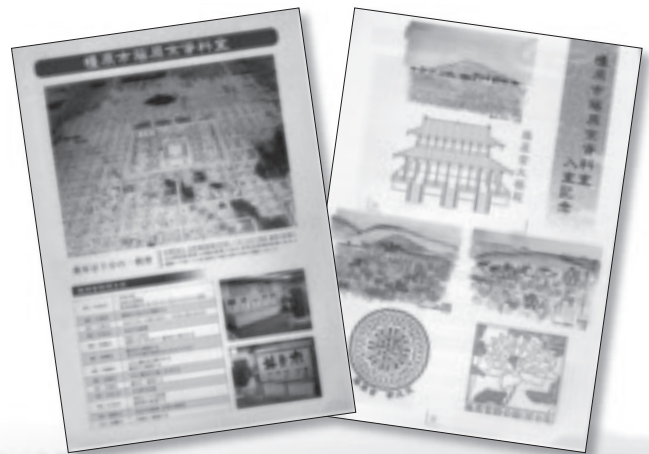
— 藤原宮大極殿跡に最も近い資料室 —

本資料室は、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産のひとつ、「特別史跡藤原宮跡」をより理解して頂くことを目的に、平成18年10月に開室しました。

展示物は、藤原京千分の一模型(約6×7m)、藤原宮跡の出土品、解説パネル、再現された朱塗りの柱、記念撮影用看板と古代衣装をまとった人形などです。映像コーナーでは、当時の藤原京の様子を再現したCGや人々の暮らしを解説したアニメを上映しています。写真展示コーナーでは、藤原宮跡で咲く花々や「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産を紹介しています。入室記念スタンプも設置しており、デザインは藤原宮大極殿・藤原宮軒丸瓦・藤原宮跡の蓮(碧台蓮)と、いずれも藤原宮跡の魅力を伝えるものになっています。入室記念チラシは、優しいタッチの大和三山と花のスケッチと組み合わせる専用台紙にもなっています。

本資料室へお立ち寄りの後は、香具山の麓の「奈良文化財研究所 藤原宮跡資料室」へも足をお運び下さい。

藤原宮跡の魅力をより深く感じて頂けるでしょう。



特別史跡藤原宮跡と美しい花園観賞のひととき、「飛鳥・藤原」周遊の旅の思い出づくりに、どうぞ本資料室へお立ち寄りください。

住所：橿原市縄手町178-1

(JAならけん橿原東部経済センターの2階)

開室時間：午前9時00分から午後5時00分まで

(最終入室は午後4時30分まで)

休室日：月曜日(月曜日が祝祭日の場合は、その翌日)

と年末年始(12月27日～1月4日)

入室料：無料

駐車場：無料(普通車30台、バス2台駐車可)

### 交通案内

●近鉄耳成駅より南西へ、近鉄畷傍御陵前駅より東へ

JR畷傍駅より南東へともに徒歩約30分

●近鉄大阪線「大和八木駅」よりコミュニティバスで4つ目の停留所

(橿原市藤原京資料室前)で下車(約20分)